

令和7年度 我が校の学ぶ力向上策

米原市立米原中学校

【市町 目標】 自分の未来を自分でつかむ子どもの育成～子どもの自己肯定感と自己有用感を高める教育の推進～
○視点1 主体的に学習に向かう姿勢や自分の考えに自信をもって表現する力の育成が必要。
○視点2 自己肯定感・自己有用感を高めよう学習活動が必要。
○視点3 園小中において、互いの教育の内容や方法について理解を深めることが必要。

【学校 目標】 MAICHU BASE (幸せ発信基地) 利他共生 ウェルビーイング
 ★人を幸せにする活動をするには、周りや自分の幸せにつながる
 ○人や地域、社会に貢献できる生徒を育てる ○自ら考え、判断し、行動できる生徒
 ○探求心をもち主体的に学ぶ生徒 ○自分や仲間の人権を大切にできる生徒

【現状と課題】
○視点1 子どもたちが主体の授業づくり
 (1) 生徒が自ら探究的に学び、やり遂げる力を育むこと <自律>
 (2) 探究的な学びを促進するために1人1台端末を活用すること
○視点2 学びを支え合う集団づくり 互いに支え合い、高め合い、認め合える集団を実現すること <仁愛>
○視点3 協働して取り組む学校づくり 学校と地域が子どものために一丸となって取り組む学校にすること <創造>

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①探求的な活動を通してより深い学びを実現できる授業づくり	①各教科の授業評価の平均値(学校評価:生徒アンケート)		
②エビデンスをもとに個別最適な学びを促進するための効果的な1人1台端末の活用法の検討する	②「私は、生徒の学びを促進するためにより効果的な1人1台端末の活用方法を検討した。」(学校評価:職員アンケート)		

【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①生徒の学びを深めるための協働的な学びの実施	①「私は、生徒の学びをより深めるために協働的な学習を実施した。」(学校評価:職員アンケート)		
②フェスタや生徒会活動など自発的な活動を重視し自己肯定感や自己有用感を高める	②「仲間と協力し合ってやり遂げることができた。」(学校評価:生徒アンケート)		

【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①コミュニティスクールを推進し、学校と地域が一体となって子どもを育てるために地域の人材等の活用を積極的に行う。	①「学校は家庭や地域との連携を大切にしている」(学校評価:保護者アンケート)		
②働き方改革で業務を見直し、働きやすさを向上させ、教育の質の向上につなげる。	②「職員が協力して働き方を変えている」(学校評価:教員アンケート)		

<視点1の具体的取組>
 ○NINOの結果を活用し、個に応じたきめ細かな指導方法や学習方法の工夫を行う。(通年)
 ○MGK(米原学習教室)として、豊かな経験を持つ退職教員を活用した学力補充を進め、定期テスト直前対策学習会や入試直前対策講座によるフォローアップに努める。(8月～12月)
<視点2・3の具体的取組>
 ○生徒会ラブプロジェクト(福祉ボランティア活動)の継続・発展に努め、積極的なボランティア活動を行う中で、地域や社会に貢献する意識を醸成する。(6月・7月)
 ○部活動の活動時間や担当を工夫し、授業や校務分掌の準備を確保する。
 ○総合学習を軸に地域の方の協力のもと農園を生かした教育活動を行い、収穫祭などを開催する。(11月)

今年度の取組の成果と課題

--